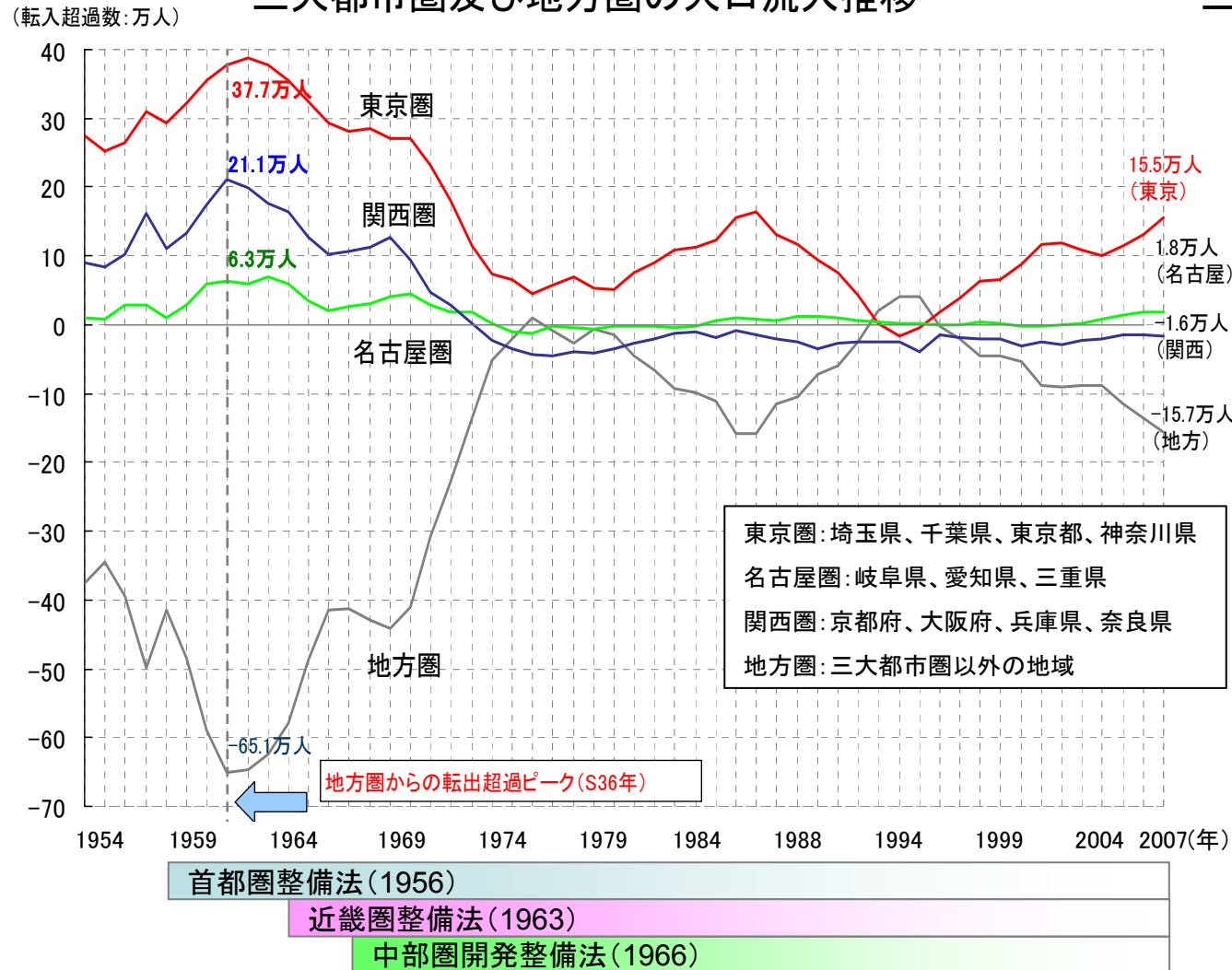


参考資料3

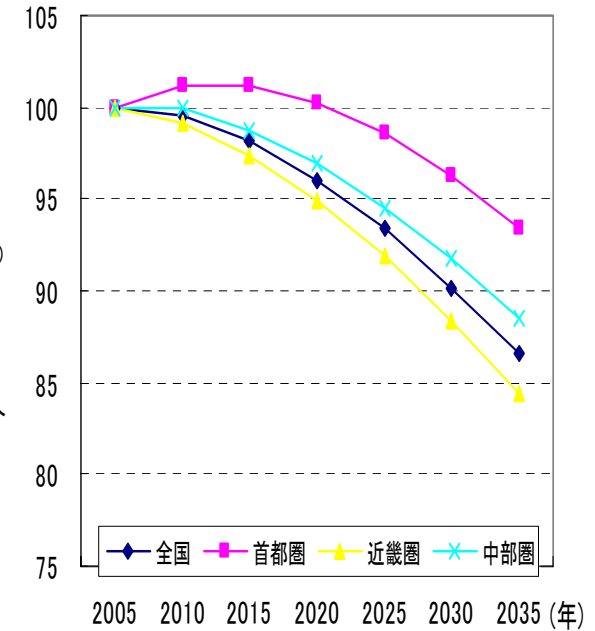
関係資料

人口の流出入の動向と今後の見通し

三大都市圏及び地方圏の人口流入推移



三大都市圏及び全国の人口推計

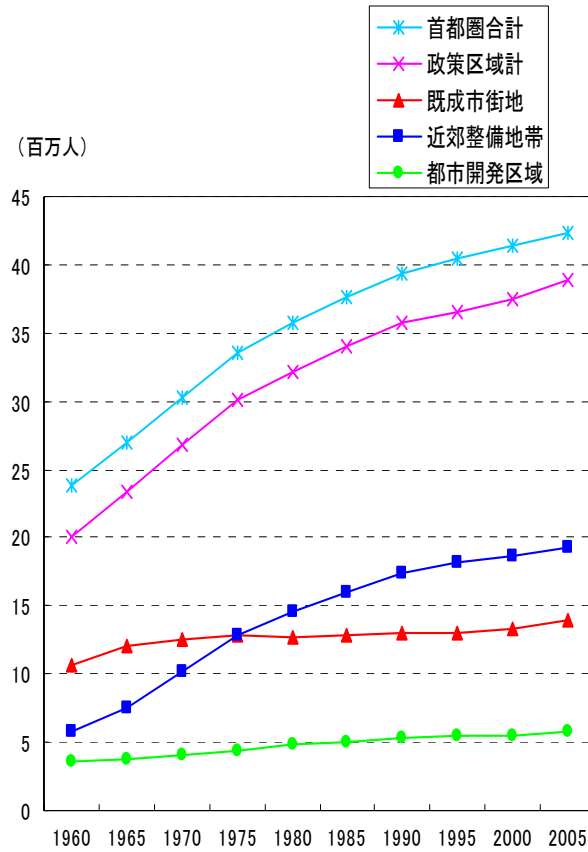


出典: 国立社会保障・人口問題研究所
 「日本の都道府県別将来推計人口」
 より国土計画局作成

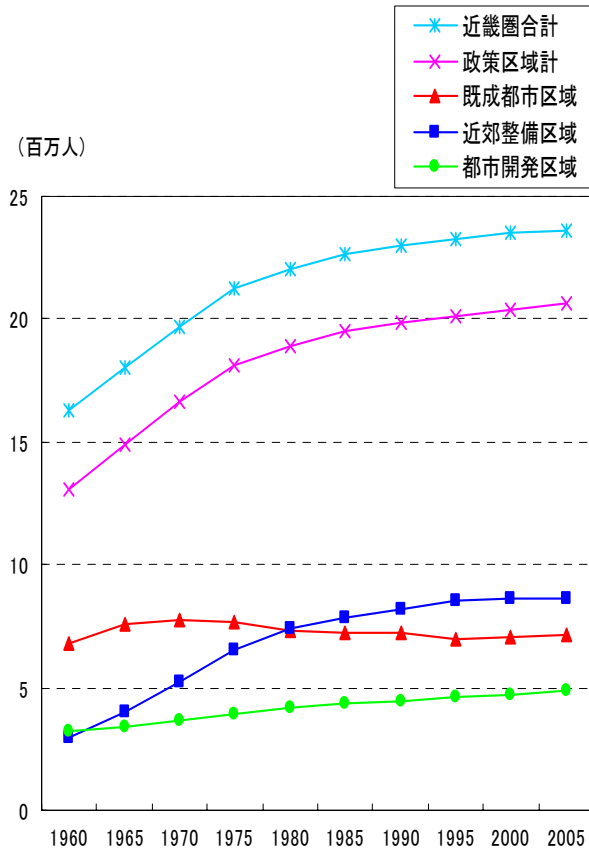
出典: 総務省「国勢調査」及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の区市町村別将来推計人口」より国土計画局作成

政策区域別人口の推移

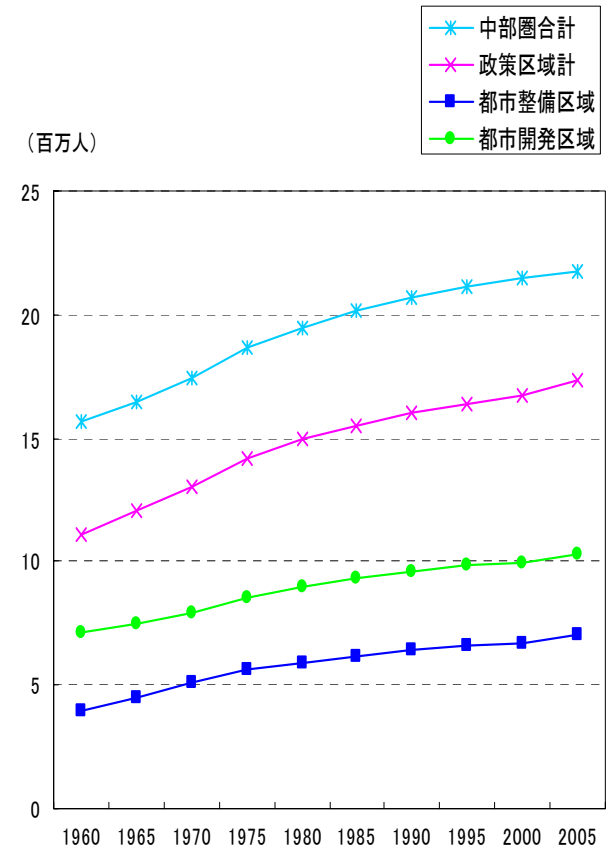
首都圏



近畿圏



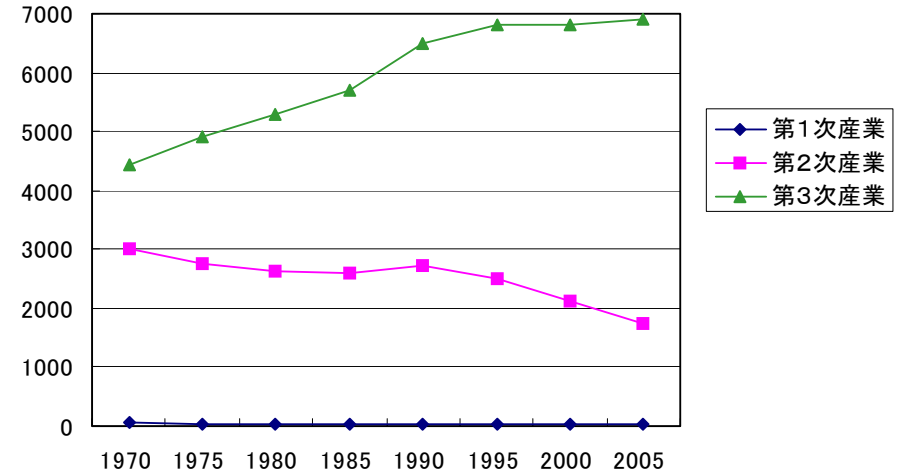
中部圏



産業別就業者数(首都圏)

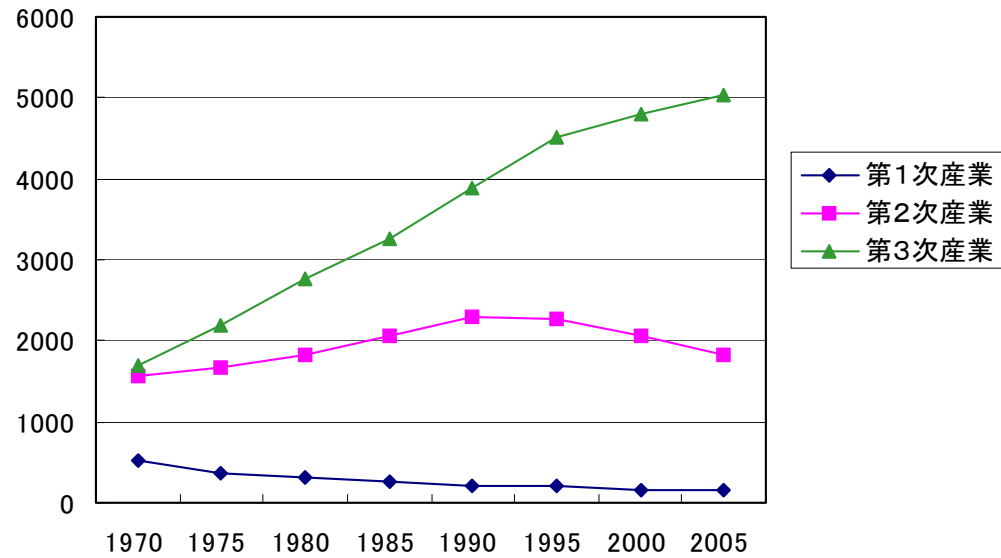
○既成市街地

(千人)



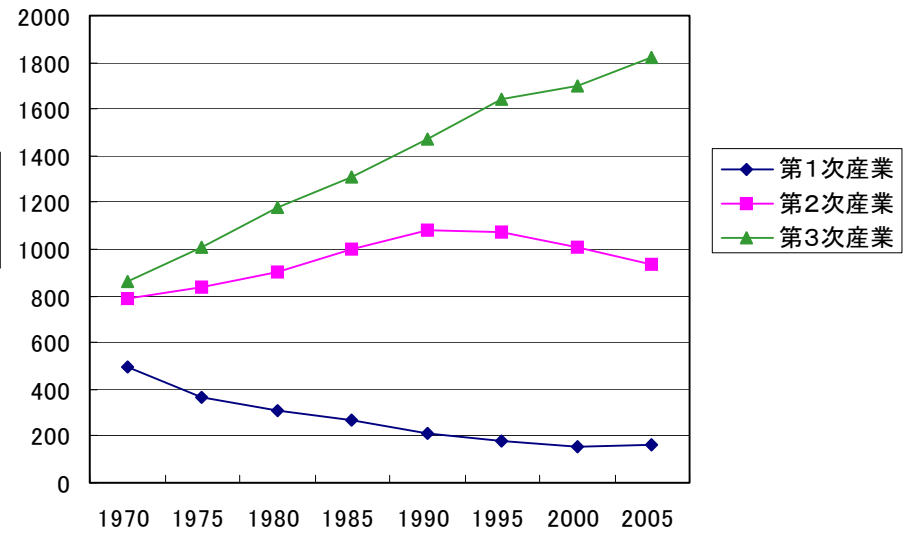
○近郊整備地帯

(千人)



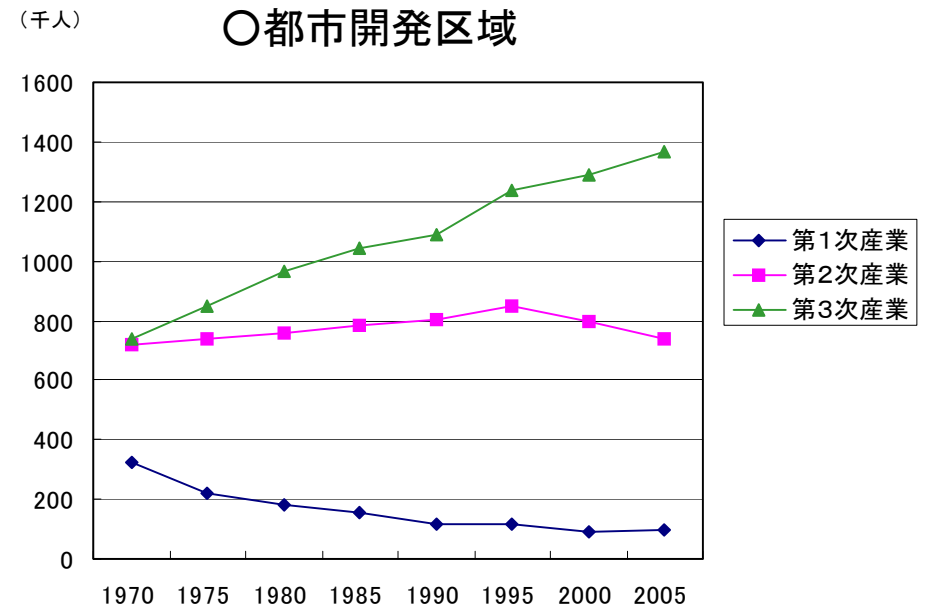
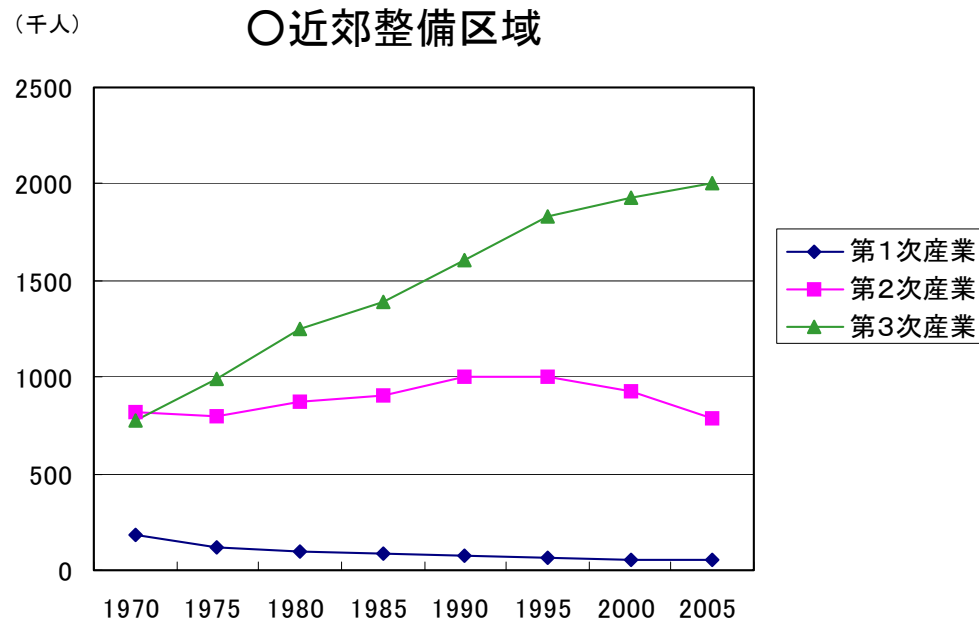
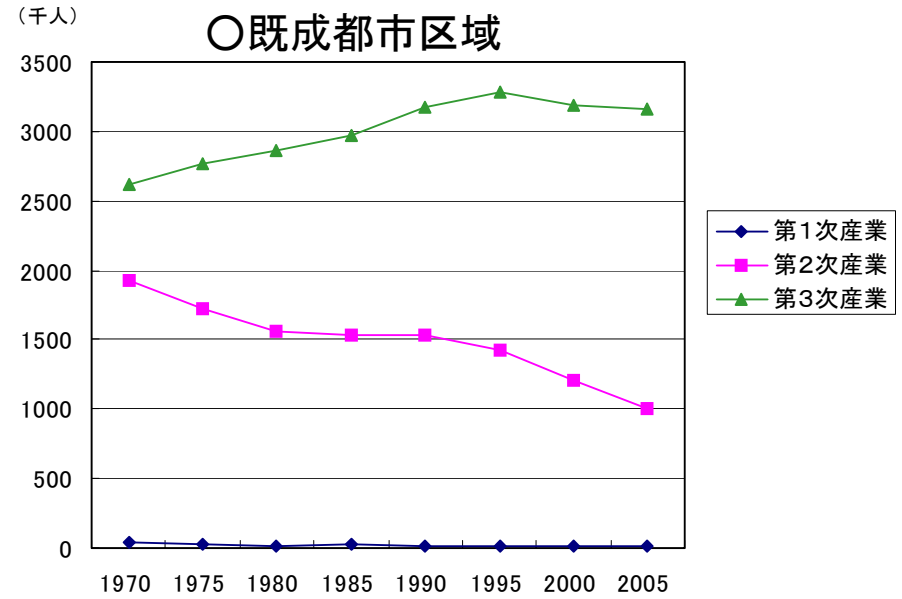
○都市開発区域

(千人)



出典:総務省「国勢調査」より国土計画局作成

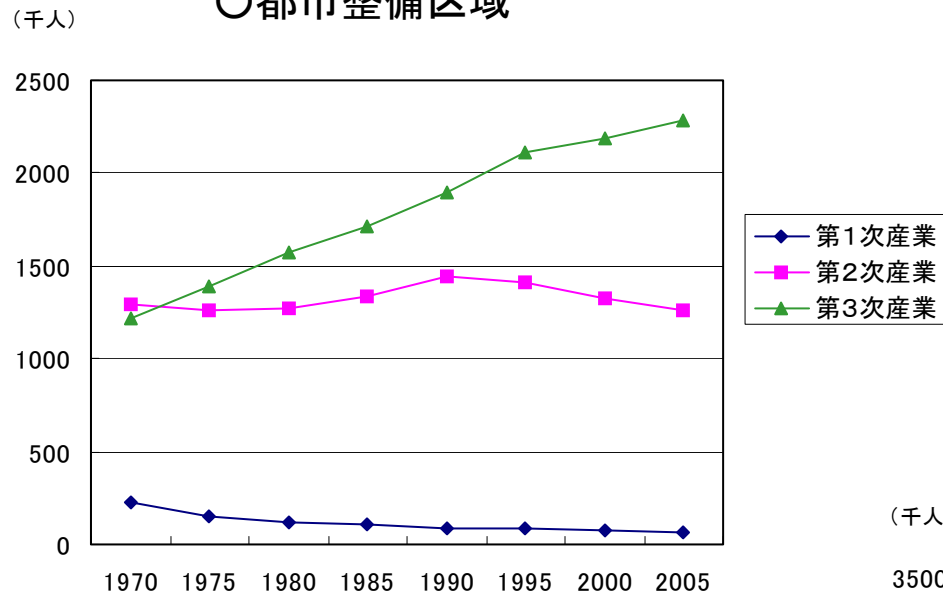
産業別就業者数(近畿圏)



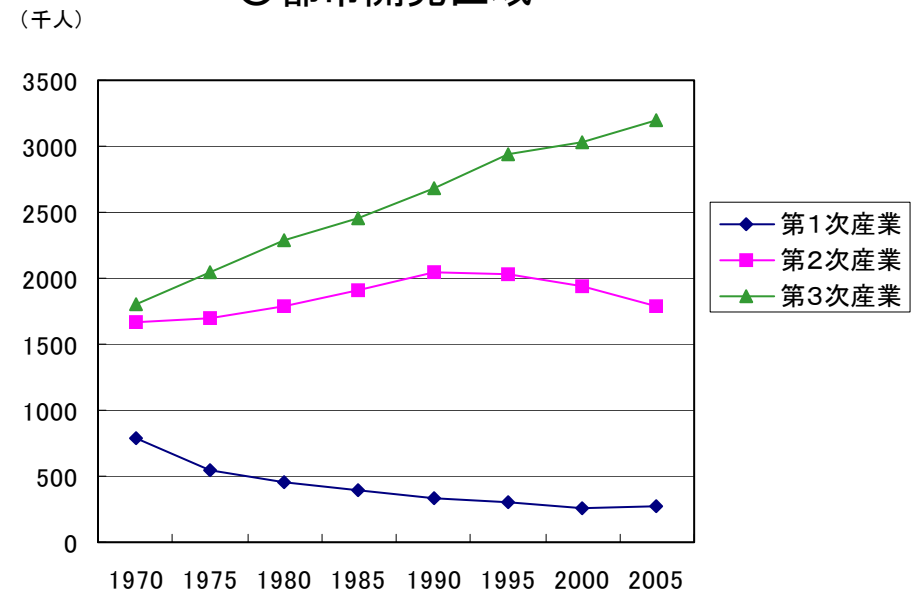
出典: 総務省「国勢調査」より国土計画局作成

産業別就業者数(中部圏)

○都市整備区域



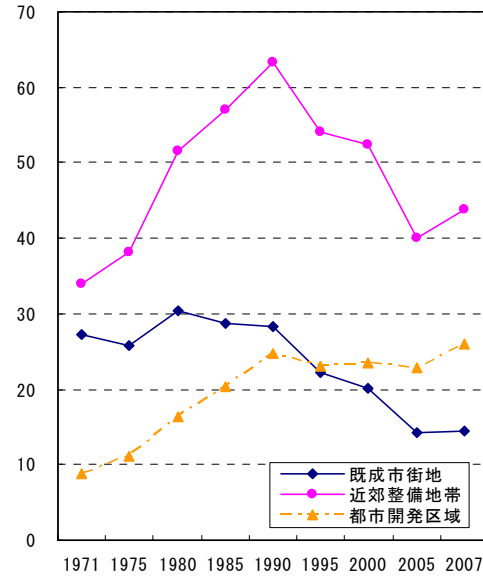
○都市開発区域



製造品出荷額

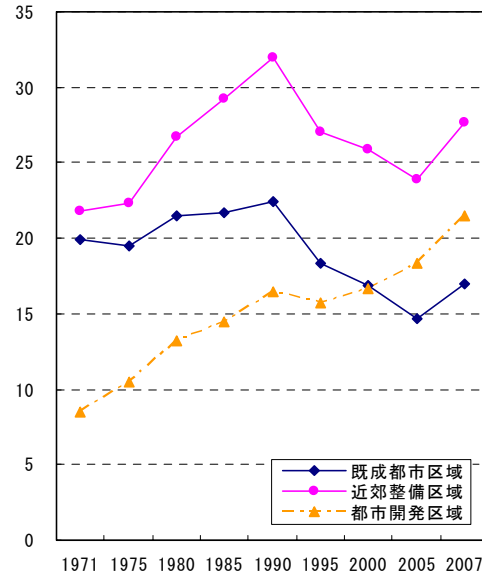
首都圏

(兆円)



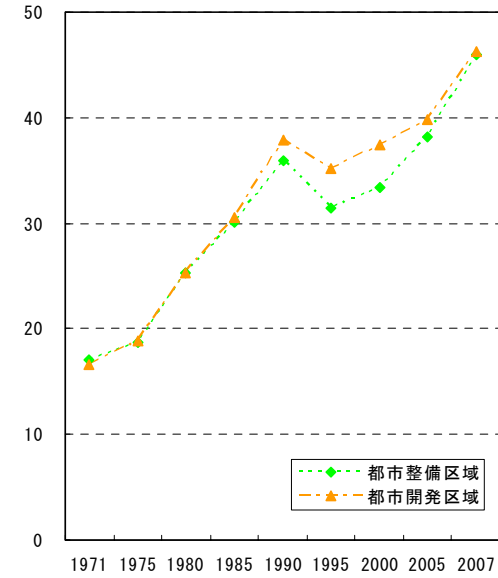
近畿圏

(兆円)

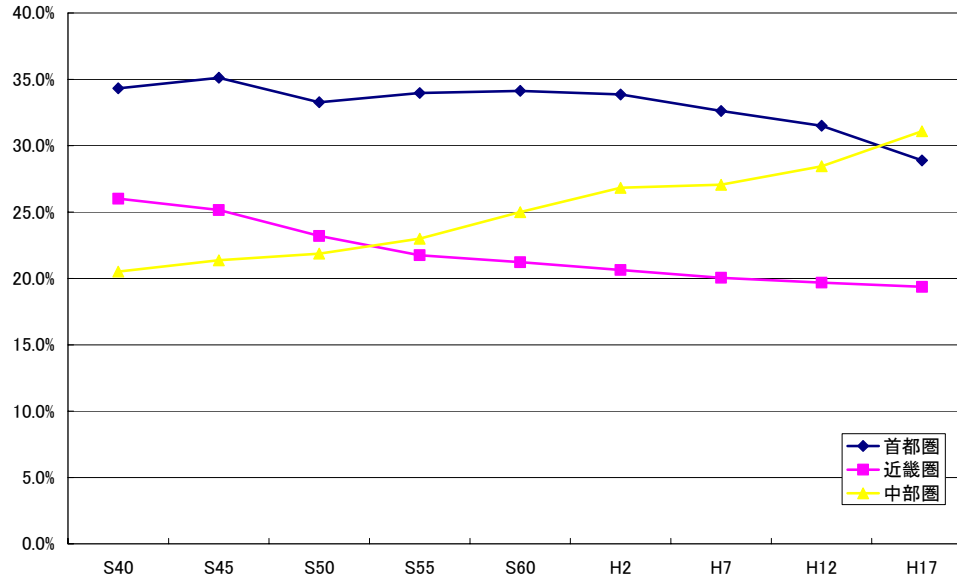


中部圏

(兆円)



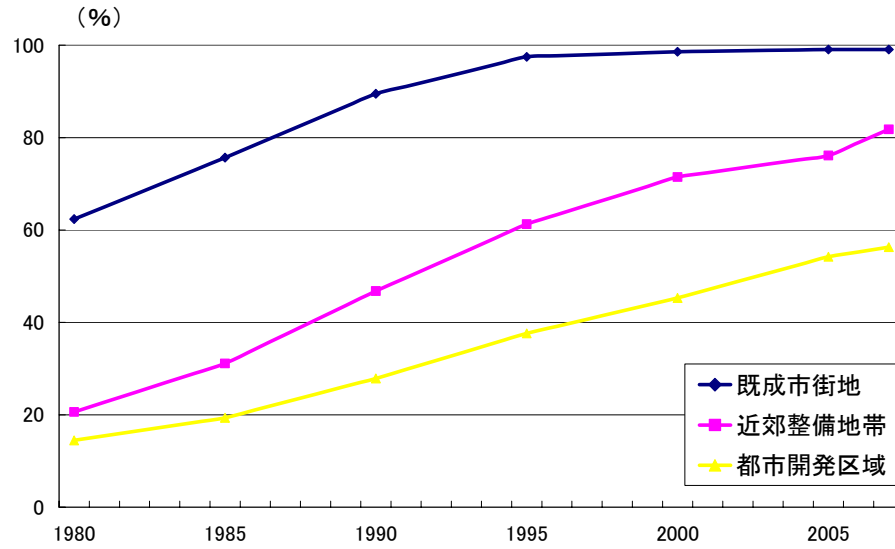
対全国シェア



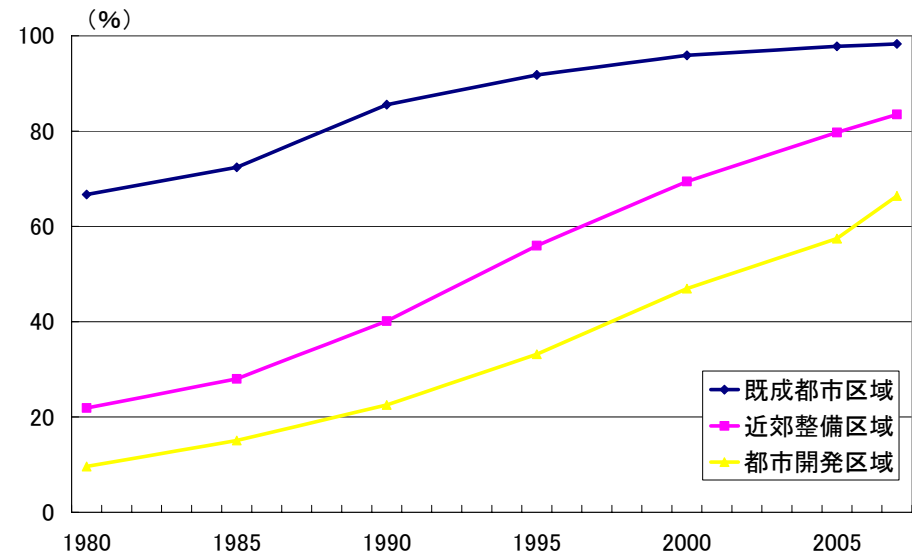
出典: 経済産業省「工業統計表」より国土計画局作成

下水道普及率

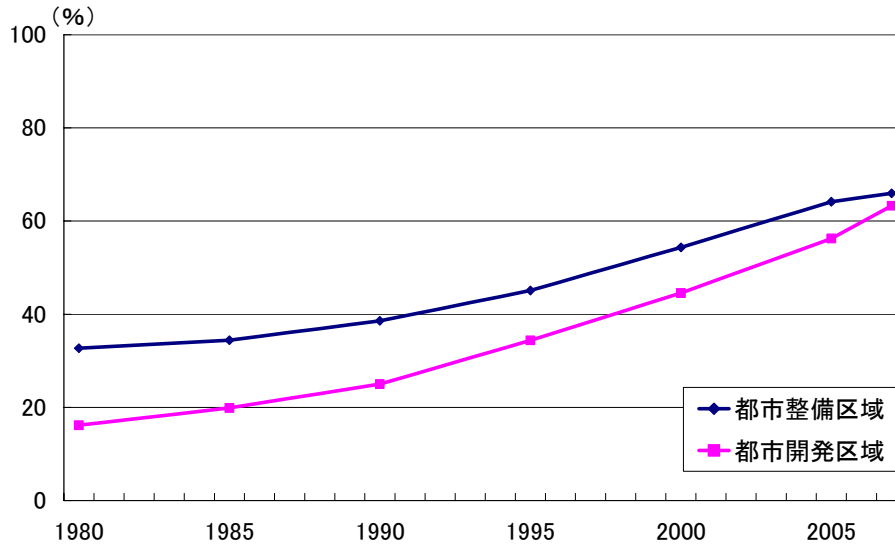
首都圏



近畿圏



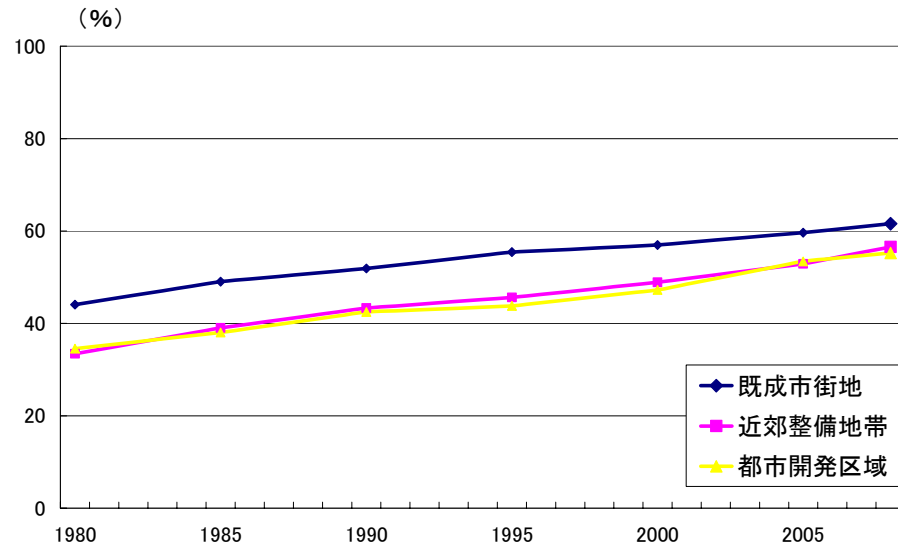
中部圏



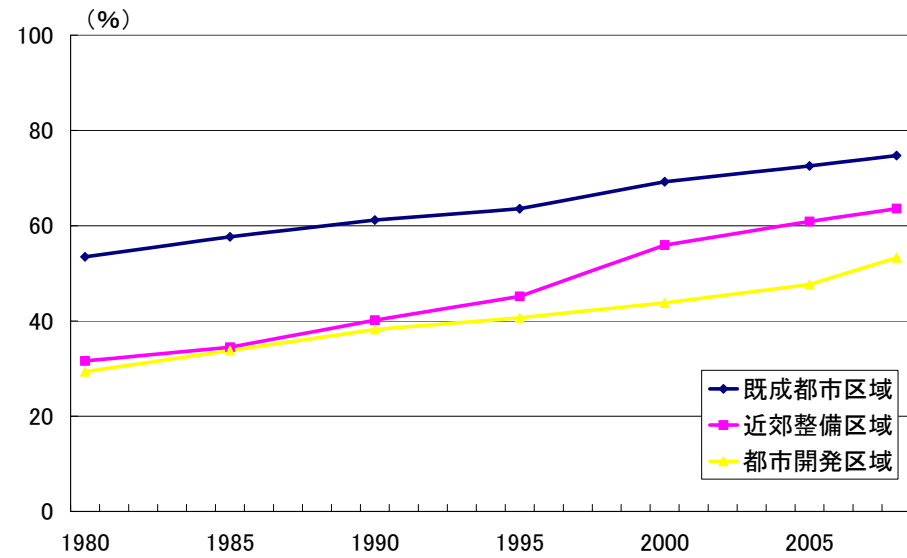
出典：日本下水道協会「下水道統計」より国土計画局作成

都市計画道路改良率

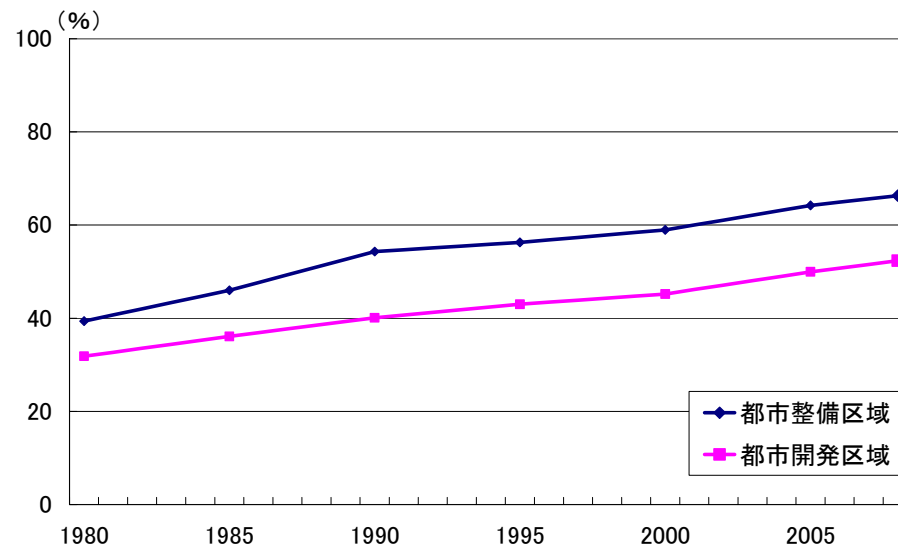
首都圏



近畿圏



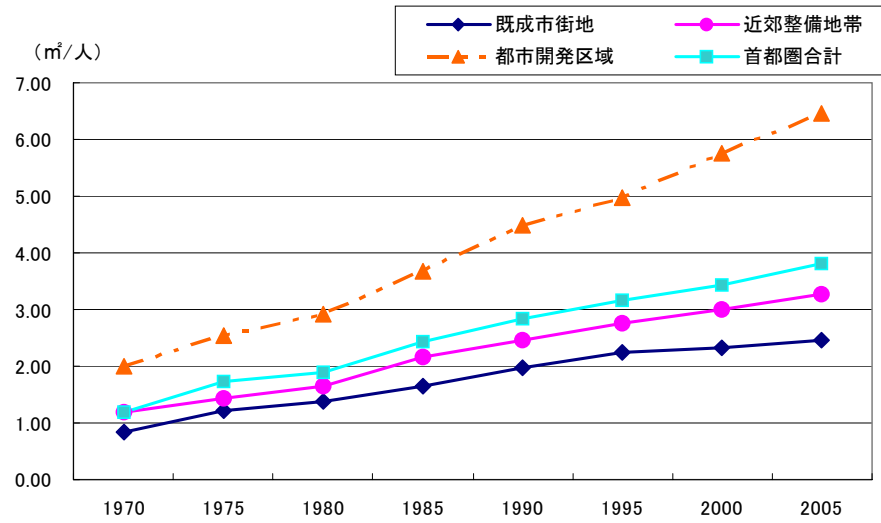
中部圏



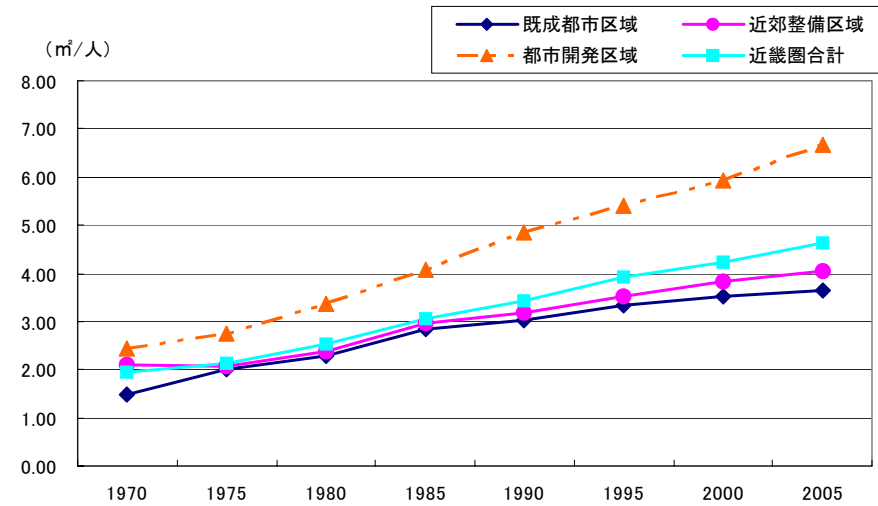
出典:国土交通省 都市・地域整備局「都市計画年報」より国土計画局作成

1人当たり都市公園面積

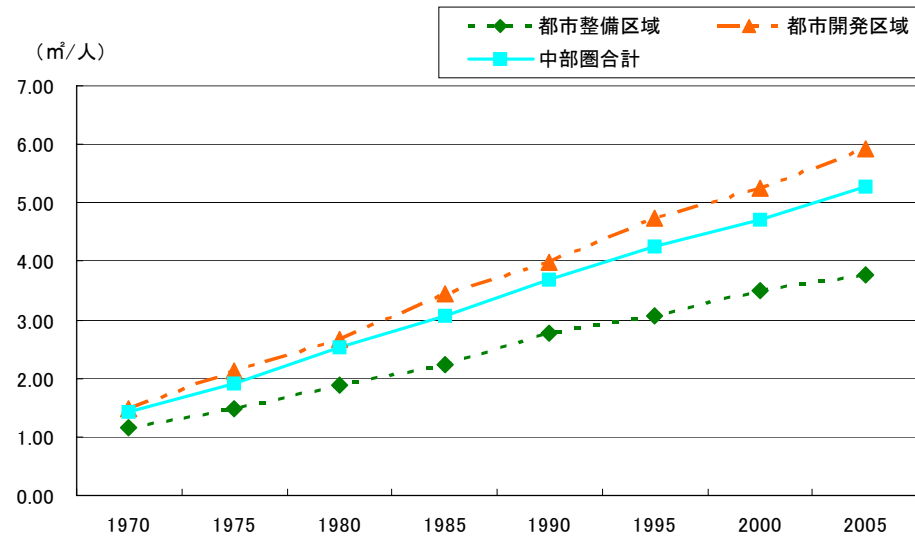
首都圏



近畿圏



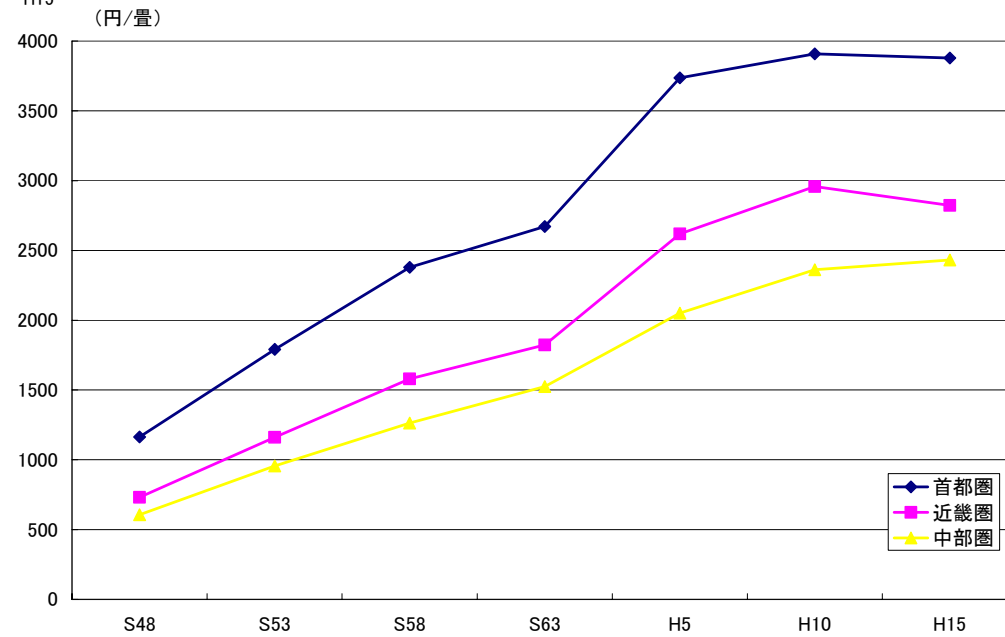
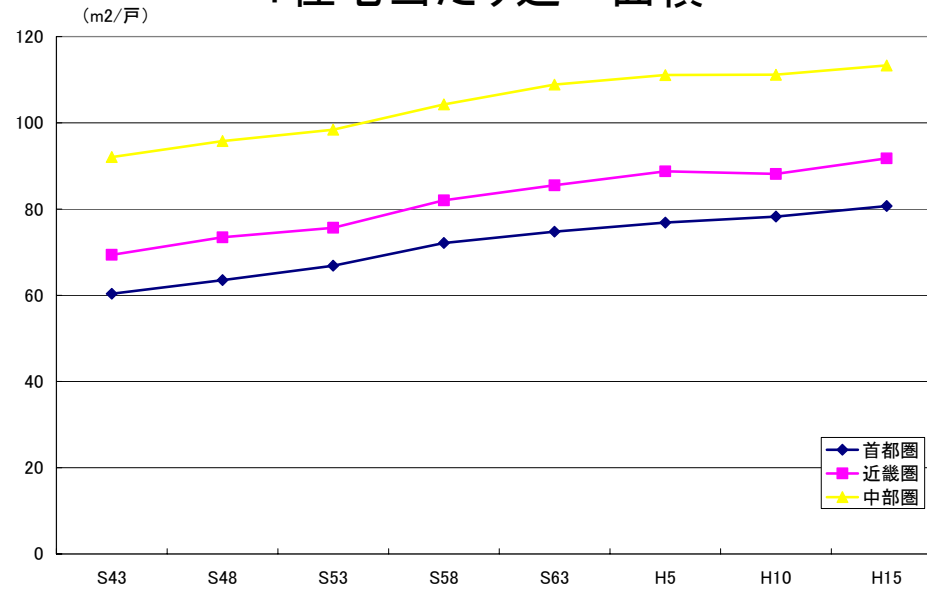
中部圏



出典: 国土交通省 都市・地域整備局「都市計画年報」より国土計画局作成

住宅水準

1住宅当たり延べ面積



出典: 総務省「住宅土地統計調査」より国土計画局作成

鉄軌道主要区間のピーク時混雑率(東京圏)

(単位：%)

路線名	区間	年度											S40等を100とした場合の指数				
		S40	S50	S60	H7	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19					
東日本旅客鉄道																	
横須賀線	新川崎 → 品川	307	292	243	-	191	189	189	185	181	182	182	S40→H19	59.3			
東海道線	新川崎 → 品川	-	263	249	-	207	206	204	200	198	190	191	S50→H19	72.6			
京浜東北線	上野 → 御徒町	298	240	257	246	230	230	225	214	214	216	209	S40→H19	70.1			
中央線(快速)	中野 → 新宿	289	260	259	228	218	218	218	214	211	208	198	S40→H19	68.5			
中央線(緩行)	代々木 → 千駄ヶ谷	178	181	186	99	91	90	90	89	89	90	91	S40→H19	51.1			
常磐線(快速)	松戸 → 北千住	-	-	268	232	203	196	190	185	169	169	176	S60→H19	65.7			
常磐線(緩行)	亀戸 → 綾瀬	284	206	259	247	207	203	200	197	182	179	176	S40→H19	62.0			
総武線(快速)	新小岩 → 錦糸町	-	280	267	223	178	178	178	177	179	180	180	S50→H19	64.3			
総武線(緩行)	錦糸町 → 両国	288	231	270	242	212	211	211	210	207	206	206	S40→H19	71.5			
東京地下鉄																	
銀座線	赤坂見附 → 溜池山王	212	235	242	170	169	168	167	162	164	165	168	S40→H19	79.2			
丸の内線	新大塚 → 茗荷谷	254	222	216	189	158	157	156	155	156	156	159	S40→H19	62.6			
日比谷線	三ノ輪 → 入谷	224	224	231	186	174	172	167	165	163	162	164	S40→H19	73.2			
東西線	木場 → 門前仲町	-	219	221	197	198	197	198	197	198	199	199	S50→H19	90.9			
千代田線	町屋 → 西日暮里	-	216	230	216	191	189	186	184	179	180	181	S50→H19	83.8			
有楽町線	東池袋 → 護国寺	-	162	195	179	177	176	174	175	176	173	173	S50→H19	106.8			
半蔵門線	東池袋 → 表参道	-	-	155	174	173	174	175	170	172	173	173	S60→H19	111.6			
東京都交通局																	
浅草線	本所吾妻橋 → 浅草	200	144	140	159	129	134	114	124	121	136	133	S40→H19	66.5			
三田線	西巢鴨 → 巢鴨	-	203	174	172	138	131	130	138	143	145	164	S50→H19	80.8			
新宿線	西大島 → 住吉	-	-	167	154	116	122	108	164	164	164	173	S60→H19	103.6			
東武鉄道																	
伊勢崎線	小菅 → 北千住	220	201	184	183	150	143	143	142	139	143	145	S40→H19	65.9			
東上線	北池袋 → 池袋	262	220	179	166	147	142	140	139	136	135	136	S40→H19	51.9			
西武鉄道																	
新宿線	下落合 → 高田馬場	247	217	199	184	159	158	157	157	158	159	160	S40→H19	64.8			
池袋線	椎名町 → 池袋	244	225	203	194	162	155	153	153	155	157	158	S40→H19	64.8			
京成電鉄																	
本線	大神宮下 → 京成船橋	220	227	179	172	160	159	158	157	157	154	151	S40→H19	68.6			
押上線	曳舟 → 押上	204	172	152	172	150	155	158	159	159	159	160	S40→H19	78.4			
京王電鉄																	
京王線	下高井戸 → 明大前	232	217	193	169	168	168	169	170	170	170	169	S40→H19	72.8			
井の頭線	神泉 → 渋谷	204	204	180	170	149	149	148	146	145	146	146	S40→H19	71.6			
小田急電鉄																	
小田原線	世田谷代田 → 下北沢	231	229	206	198	190	189	188	188	188	190	192	S40→H19	83.1			
東京急行電鉄																	
東横線	祐天寺 → 中目黒	230	237	204	191	183	174	173	175	173	169	172	S40→H19	74.8			
田園都市線	池尻大橋 → 渋谷	-	-	225	192	195	198	195	191	194	196	198	S60→H19	88.0			
京浜急行電鉄																	
本線	戸部 → 横浜	267	193	180	156	151	151	151	151	151	151	153	S40→H19	57.3			
主要31区間の平均		-	221	212	192	175	173	171	171	170	170	171	S50→H19	77.4			

出典：(財)運輸政策研究機構「都市交通年報」、
「数字でみる鉄道」より国土計画局作成

- 注1) 東日本旅客鉄道横須賀線の区間は昭和60年度までは保土ヶ谷→横浜
- 注2) 東日本旅客鉄道東海道線の区間は昭和60年度までは大船→横浜
- 注3) 東日本旅客鉄道中央線(快速)の区間は昭和60年度までは新宿→四ツ谷
- 注4) 東日本旅客鉄道常磐線(緩行)の区間は昭和40年度までは三河島→日暮里
- 注5) 東日本旅客鉄道総武線(緩行)の区間は昭和60年度までは平井→亀戸
- 注6) 東京地下鉄銀座線の区間は平成9年度までは赤坂見附→虎ノ門
- 注7) 東京地下鉄日比谷線の区間は昭和50年度までは入谷→上野

- 注8) 東京地下鉄東西線の区間は昭和50年度までは西船橋→東陽町、平成12年度までは門前仲町→茅場町
- 注9) 東京都交通局浅草線の区間は平成15年度までは押上→本所吾妻橋
- 注10) 東京都交通局新宿線の区間は平成15年度までは新宿→新宿三丁目
- 注11) 京成電鉄押上線の区間は昭和40年度は青砥→京成立石、平成13年度までは四ツ木→八広
- 注12) 京王電鉄京王線の区間は昭和50年度までは初台→新宿
- 注13) 東急電鉄東横線の区間は昭和40年度までは代官山→渋谷

鉄軌道主要区間のピーク時混雑率(大阪圏)

(単位：%)

路線名	区間	年 度											S40等を100とした場合の 指数			
		S40	S50	S60	H7	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19				
西日本旅客鉄道																
東海道線(快速)	茨木 → 新大阪	251	214	222	147	134	131	129	124	116	129	122	S40→H19	48.6		
東海道線(緩行)	新大阪 → 大阪	247	188	204	147	133	138	138	112	155	131	119	S40→H19	48.2		
大阪環状線	鶴橋 → 玉造	148	245	225	181	163	142	153	157	142	149	149	S40→H19	100.7		
片町線	鳴野 → 京橋	275	251	242	160	139	108	108	110	105	149	137	S40→H19	49.8		
阪和線(快速)	堺市 → 天王寺	235	212	183	181	157	154	143	134	161	149	141	S40→H19	60.0		
大阪市交通局																
御堂筋線	難波 → 心齋橋	224	217	240	178	154	153	152	152	151	148	134	S40→H19	59.8		
谷町線	天王寺 → 四天王寺前夕陽ヶ丘	-	165	172	156	129	127	127	125	123	120	120	S50→H19	72.7		
四つ橋線	難波 → 四ツ橋	-	144	183	169	105	105	105	105	101	100	99	S50→H19	68.8		
堺筋線	日本橋 → 長堀橋	-	185	177	110	115	114	114	113	113	114	113	S50→H19	61.1		
近畿日本鉄道																
大阪線	俊徳道 → 布施	268	192	181	151	147	148	146	144	143	142	141	S40→H19	52.6		
奈良線	河内永和 → 布施	268	193	185	168	149	148	148	147	147	143	141	S40→H19	52.6		
南大阪線	北田辺 → 河堀口	281	190	163	154	147	143	148	144	142	142	142	S40→H19	50.5		
京都線	向島 → 桃山御陵前	223	192	171	163	141	149	149	147	144	145	143	S40→H19	64.1		
南海電鉄																
南海本線	湊 → 堺	239	182	179	145	137	133	130	131	126	131	131	S40→H19	54.8		
高野線	百舌鳥八幡 → 三国ヶ丘	217	192	184	169	141	137	132	129	126	129	130	S40→H19	59.9		
京阪電鉄																
京阪本線	野江 → 京橋	240	203	172	162	144	140	138	130	125	132	126	S40→H19	52.5		
阪急電鉄																
神戸本線	神崎川 → 十三	239	209	174	146	146	147	148	148	148	148	148	S40→H19	61.9		
宝塚本線	三国 → 十三	256	200	173	156	152	151	150	149	149	148	147	S40→H19	57.4		
京都本線	上新庄 → 淡路	214	207	172	156	144	143	141	139	135	133	130	S40→H19	60.7		
阪神電鉄																
本線	淀川 → 野田	210	162	162	131	124	121	121	119	118	113	115	S40→H19	54.8		
主要20区間の平均		-	199	187	157	142	138	137	134	134	136	133	S50→H19	66.8		

注1) 西日本旅客鉄道東海道線(緩行)の区間は昭和40年度は東淀川→新大阪

注2) 西日本旅客鉄道大阪環状線の区間は昭和40年度までは大阪→福島

注3) 近畿日本鉄道南大阪線の区間は昭和50年度までは河堀口→阿倍野橋

注4) 南海電鉄高野線の区間は昭和40年度までは沢ノ町→住吉東

注5) 阪急電鉄京都本線の区間は昭和40年度は崇禅寺→南方

注6) 阪神電鉄本線の区間は昭和40～60年度は姫島→淀川

注7) 谷町線の区間は昭和50～平成18年度は谷町九丁目→谷町六丁目

出典：(財)運輸政策研究機構「都市交通年報」、
「数字でみる鉄道」より国土計画局作成

鉄軌道主要区間のピーク時混雑率(名古屋圏)

(単位：%)

路線名	区間	年度											S40等を100とした場合の 指数	
		S40	S50	S60	H7	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19		
東海旅客鉄道 東海道線 中央線	枇杷島→名古屋	167	165	168	138	127	129	129	129	129	125	127	S40→H19	76.0
	新守山→大曾根	184	184	192	159	150	150	149	146	144	144	144	S40→H19	78.3
名古屋市交通局 東山線 名城線 鶴舞線	名古屋→伏見	235	236	251	213	185	182	177	182	176	174	174	S40→H19	74.0
	金山→東別院	-	205	197	178	165	156	155	164	161	160	160	S50→H19	78.0
	川名→御器所	-	-	179	163	155	154	154	138	136	141	138	S60→H19	77.1
名古屋鉄道 名古屋本線(西) 名古屋本線(東)	栄生→名鉄名古屋	238	213	184	158	139	137	135	137	138	137	137	S40→H19	57.6
	神宮前→金山	202	180	165	151	131	130	135	138	140	139	140	S40→H19	69.3
近畿日本鉄道 名古屋線	米野→近鉄名古屋	-	200	165	159	147	148	144	143	144	143	143	S50→H19	71.5
主要8区間の平均		-	205	192	165	149	147	146	147	146	145	146	S50→H19	71.2

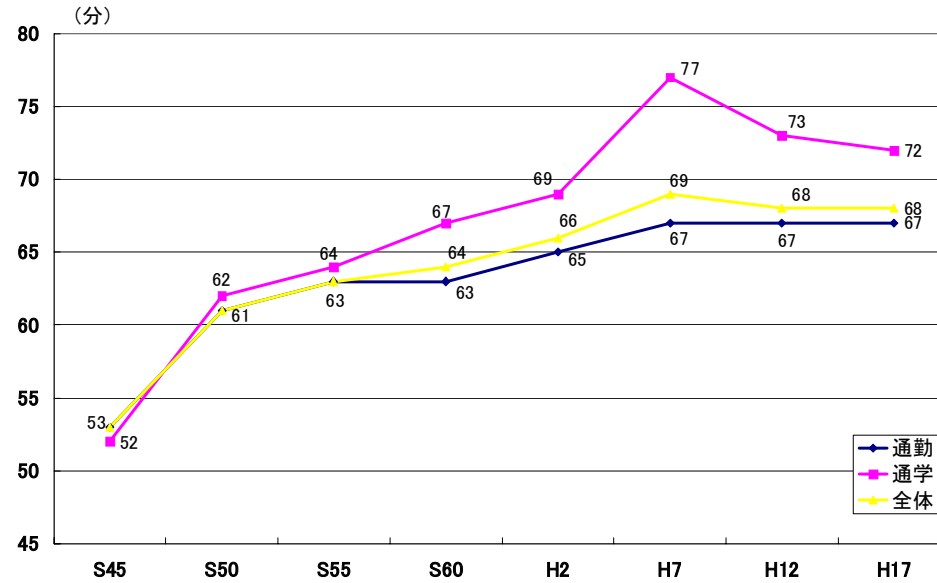
注1) 東海旅客鉄道東海道線の区間は昭和60年度までは大垣→名古屋

注2) 東海旅客鉄道中央線の区間は昭和60年度までは多治見→名古屋

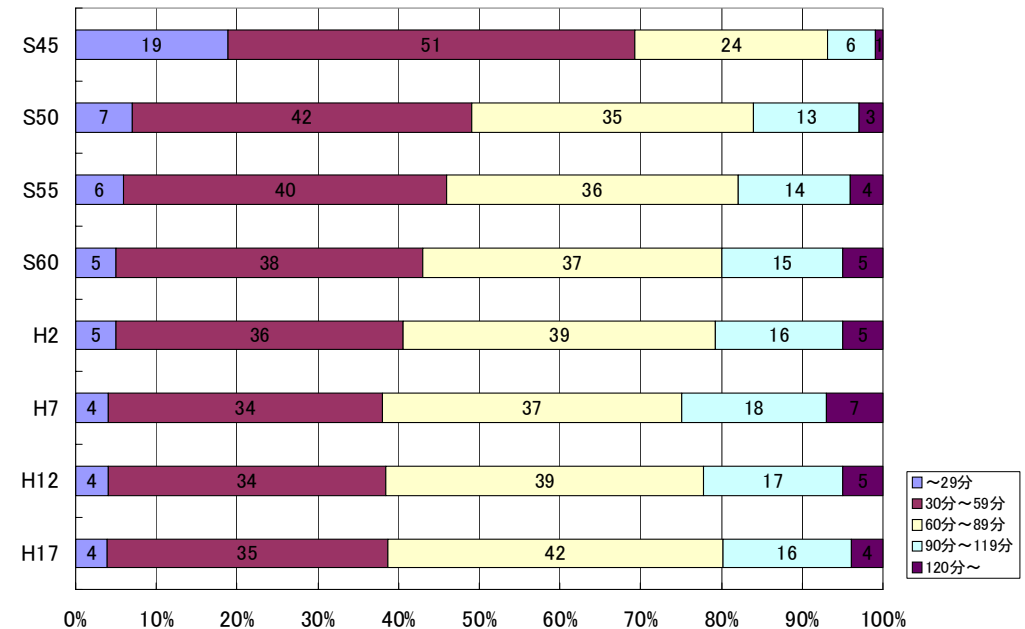
注3) 名古屋鉄道名古屋本線(東)の区間は昭和60年度までは呼続→堀田

通勤・通学所要時間の推移(首都圏)

平均移動時間の経年変化(鉄道定期利用者、首都圏)



所要時間帯分布の経年変化(鉄道定期利用者、首都圏)



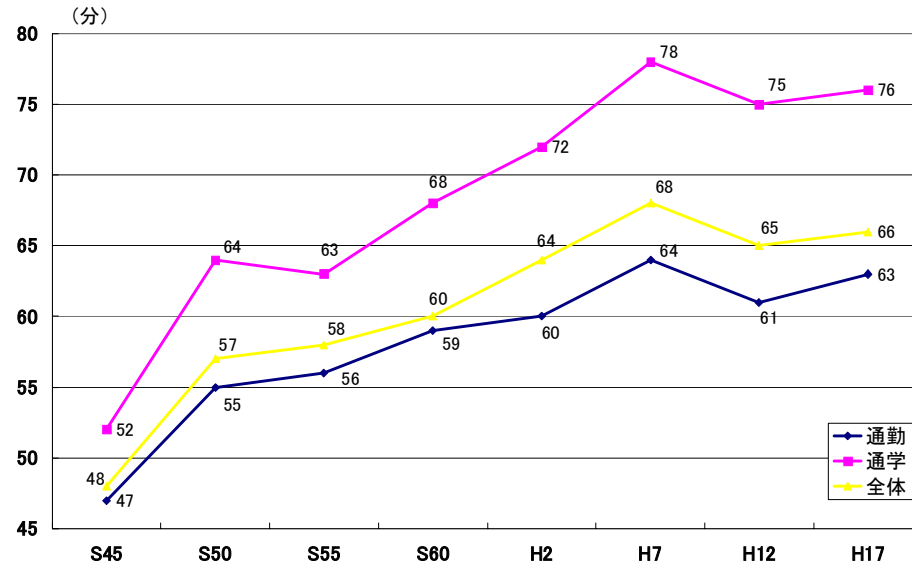
注1) 東京駅までの鉄道所要時間が概ね2時間以内の鉄道を利用する定期券利用者を調査対象としている。(約70km圏)

注2) S45については、東京駅を中心として50km圏が調査対象。

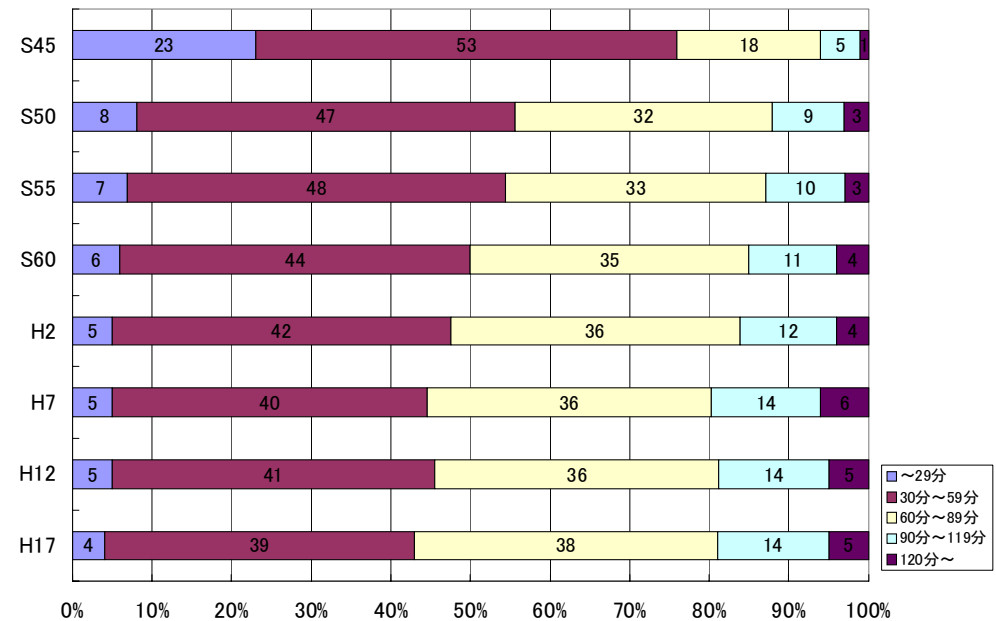
出典: 国土交通省「大都市交通センサス」より国土計画局作成

通勤・通学所要時間の推移(近畿圏)

平均移動時間の経年変化(鉄道定期利用者、近畿圏)



所要時間帯分布の経年変化(鉄道定期利用者、近畿圏)



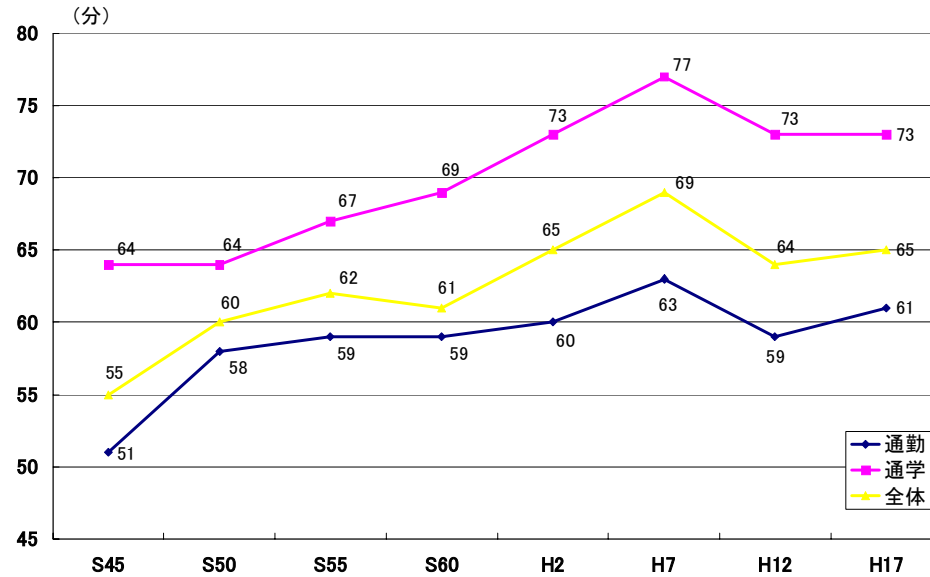
注1)大阪駅までの鉄道所要時間が概ね2時間以内の鉄道を利用する定期券利用者を調査対象としている。(約70km圏)

注2)S45については、大阪駅を中心として50km圏が調査対象。

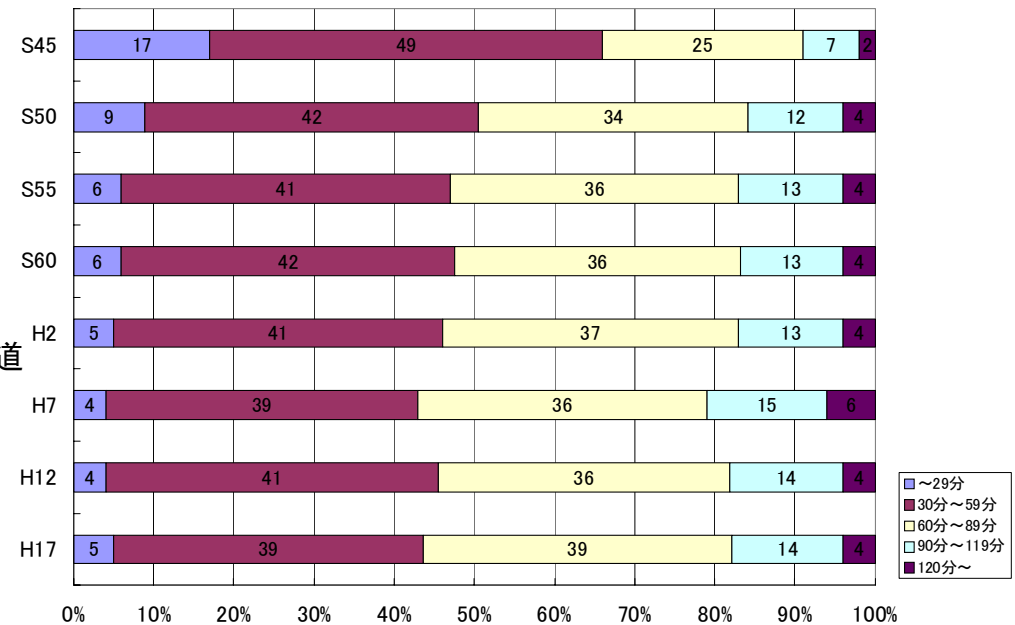
出典:国土交通省「大都市交通センサス」より国土計画局作成

通勤・通学所要時間の推移(中京圏)

平均移動時間の経年変化(鉄道定期利用者、中京圏)



所要時間帯分布の経年変化(鉄道定期利用者、中京圏)

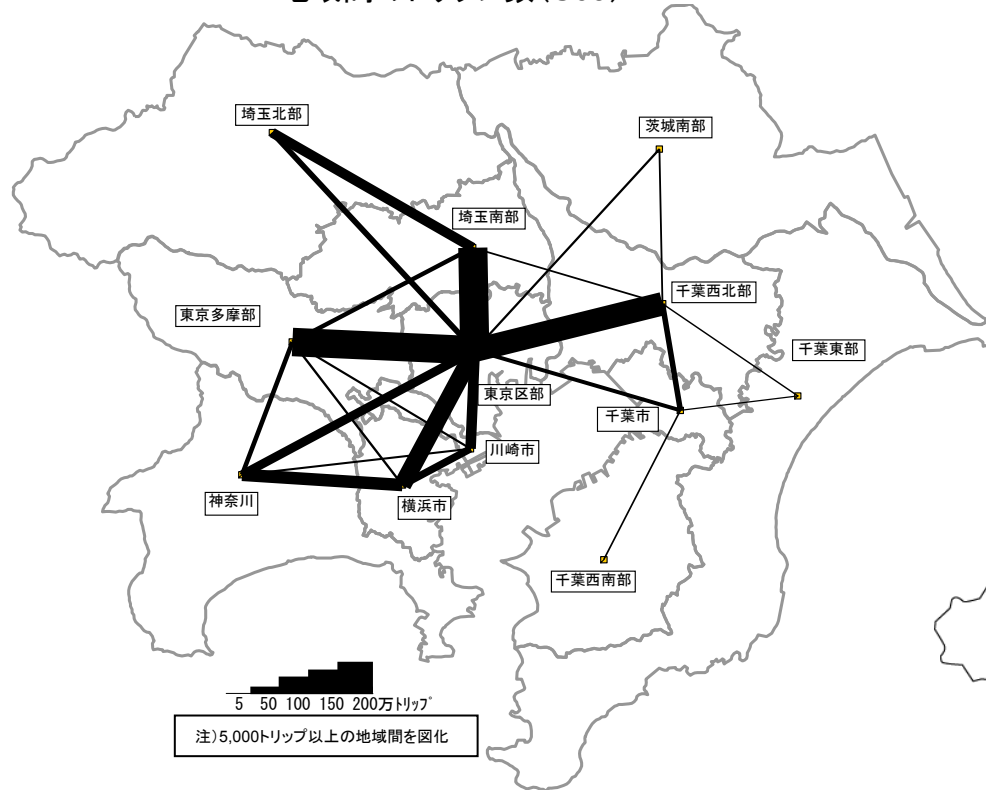


注1)名古屋駅までの鉄道所要時間が概ね1時間30分以内の鉄道を利用する定期券利用者を調査対象としている。(約50km圏)
 注2)S45については、名古屋駅を中心として40km圏が調査対象。

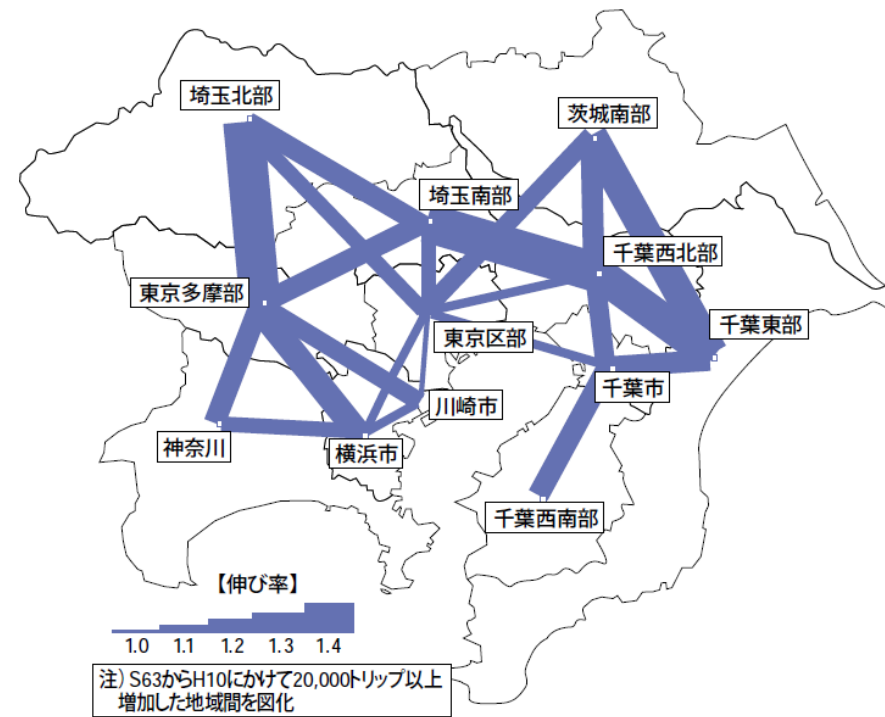
出典:国土交通省「大都市交通センサス」より国土計画局作成

地域間トリップ数の増加(東京圏)

地域間のトリップ数(S63)



地域間トリップ数の伸び(S63→H10)

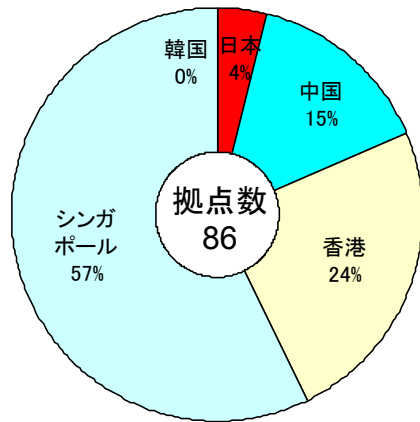


出典: 東京都市圏交通計画協議会「人の動きからみる東京都市圏のいま(H11.11)」より

世界主要企業等の立地状況

「2007年版フォーチュン500」にリストされた企業の東アジア立地状況

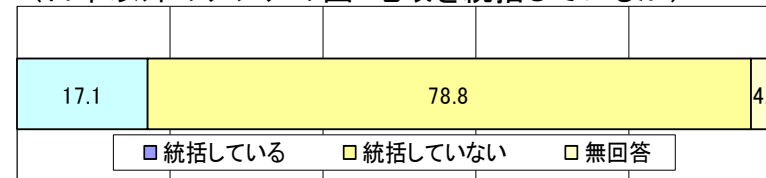
地域統括拠点



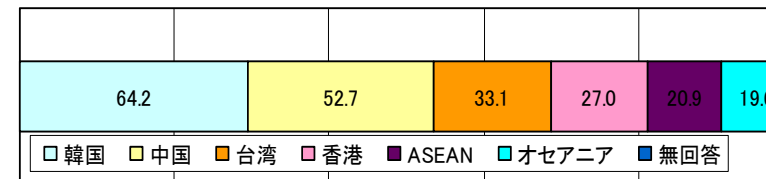
出典:「アジアにおける世界主要企業の立地(集積)状況と企業誘致政策に関する調査」報告書(平成20年3月、日本貿易振興機構)より国土交通省国土計画局作成。

日本立地外資企業のアジア地域統括拠点機能

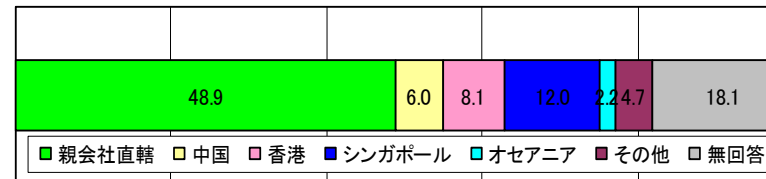
(日本以外のアジアの国・地域を統括しているか)



(統括している場合、統括している国・地域)



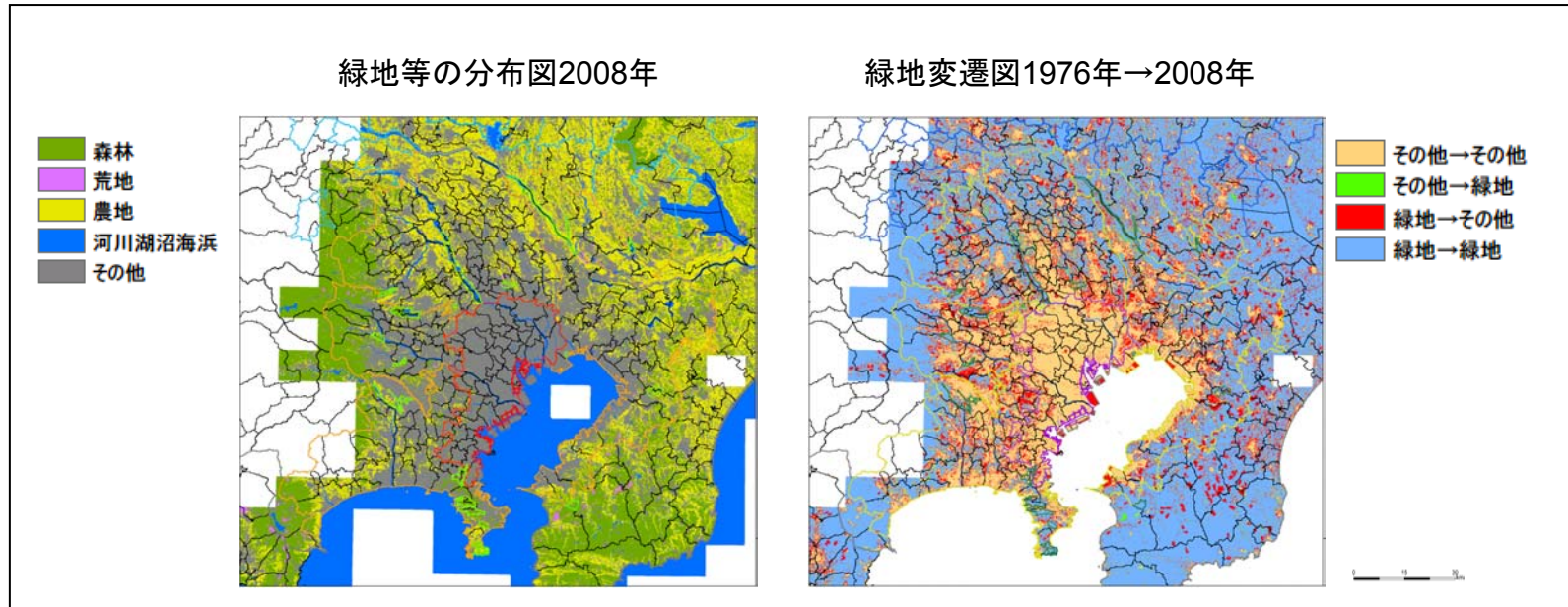
(統括していない場合、アジアを統括している国・地域)



(資料)日本貿易振興機構「対日直接投資に関する外資系企業の意識調査」(2009年3月)

緑地面積の推移(首都圏)

首都圏における緑地面積の変化



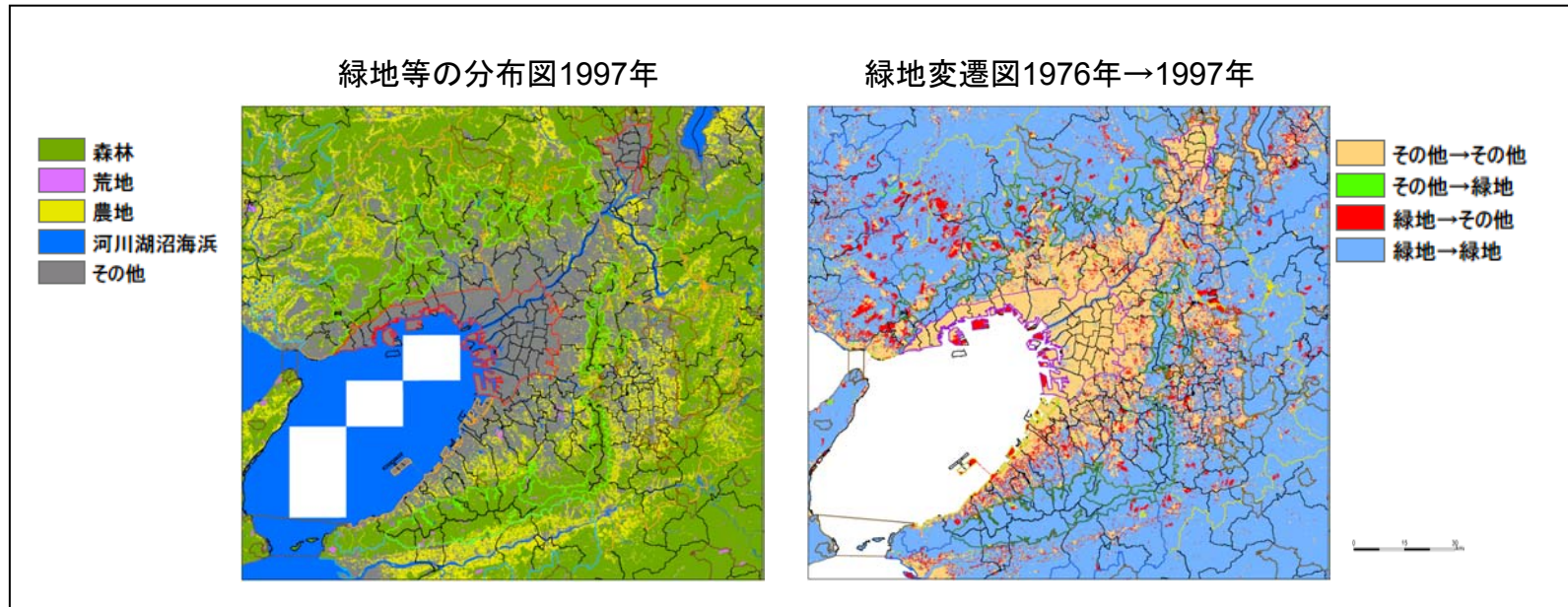
	全体面積 (ha)	1976年		2008年		推移	
		緑地等 面積(ha)	緑地率	緑地等 面積 (ha)	緑地率	減少量 (ha)	減少率
合計	761,424	454,458	59.7%	355,788	46.7%	98,670	21.7%
既成市街地	95,495	14,970	15.7%	7,631	8.0%	7,339	49.0%
近郊整備地帯	665,929	439,488	66.0%	348,158	52.3%	91,330	20.8%

(※神奈川県内の約16,500haについてはデータ不完全のため計測対象外)

出典:「国土数値情報」などにより国土交通省作成

緑地面積の推移(近畿圏)

近畿圏における緑地面積の変化

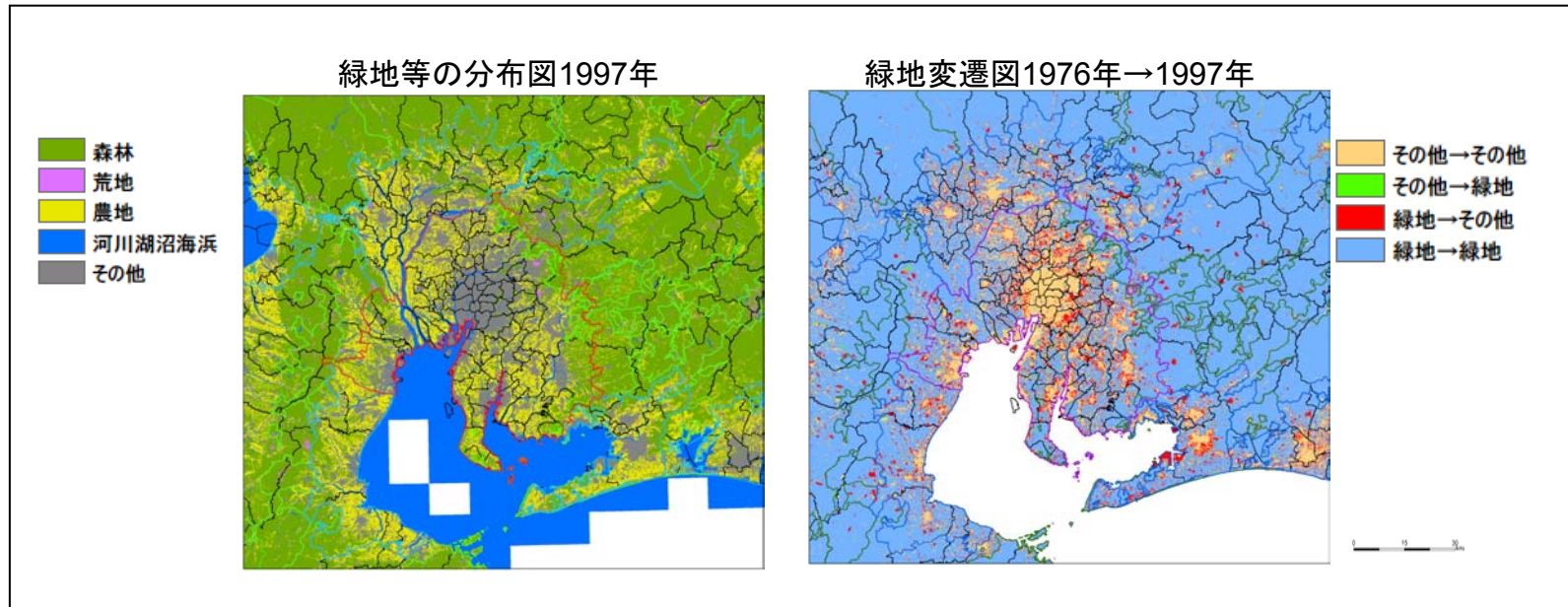


	全体面積 (ha)	1976年		1997年		推移	
		緑地等 面積(ha)	緑地率	緑地等 面積 (ha)	緑地率	減少量 (ha)	減少率
圏域全域	3,934,760	3,553,830	90.3%	3,460,980	88.0%	92,850	2.6%
既成都市区域	46,833	6,275	13.4%	4,005	8.5%	2,270	36.2%
近郊整備区域	384,884	283,658	73.7%	247,009	64.2%	36,650	12.9%
都市開発区域	640,170	558,002	87.2%	526,325	82.2%	31,678	5.7%
保全区域	581,941	560,759	96.4%	552,190	94.9%	8,569	1.5%

出典:「国土数値情報」などにより国土交通省作成

緑地面積の推移(中部圏)

中部圏における緑地面積の変化



	全体面積 (ha)	1976年		1997年		推移	
		緑地等 面積(ha)	緑地率	緑地等 面積 (ha)	緑地率	減少量 (ha)	減少率
圏域全域	5,953,608	5,561,089	93.4%	5,391,847	90.6%	169,242	3.0%
都市整備区域	306,474	208,887	68.2%	175,431	57.2%	33,456	16.0%
保全区域重複	16,601	15,630	94.2%	15,102	91.0%	529	3.4%
都市開発区域	1,114,499	944,014	84.7%	871,196	78.2%	72,818	7.7%
保全区域	1,238,797	1,220,715	98.5%	1,206,681	97.4%	14,034	1.1%

出典:「国土数値情報」などにより国土交通省作成

近郊緑地保全区域における緑地の現状

近郊緑地保全区域における緑地の減少率

首都圏

	区域 総面積	緑地等 面積率	減少率	備考
近郊緑地 保全区域	15,861 ha	約85% (2000年)	約2.4%	1974年(S49) →2000年(H12) (※)
近郊整備 地帯	682,478ha	約56% (1997年)	約15.2%	1976年 →1997年

近畿圏

	区域 総面積	緑地等 面積率	減少率	備考
近郊緑地 保全区域	81,212 ha	約95% (2001年)	約1.9%	1974年(S49) →2001年 (H13)(※)
近郊整備 区域	384,884 ha	約64% (1997年)	約12.9%	1976年 →1997年

(※一部区域内のデータが不完全のため推計値を用いて算出)

出典:「国土数値情報」などにより作成

近郊緑地保全区域内の活動団体数

首都圏	東京都	3
	神奈川県	79
	千葉県	4
	埼玉県	24
	茨城県	8
首都圏合計		118

近畿圏	大阪府	24
	京都府	0
	兵庫県	6
	奈良県	9
	和歌山県	1
	滋賀県	0
近畿圏合計		40

出典:「平成20年度大都市圏における緑地保全等
実態調査 行政アンケート」などにより作成